

## 農業B

〔例題1〕 作物の栽培管理に関する次の記述について、正しいものはどれか。

1. 作物の根もとを、ポリエチレンフィルムやいなわらなどでおおうことをトンネル被覆といい、地温の調節、土壌水分の蒸散防止等の効果がある。
2. トウモロコシ、ダイズなどの栽培では、ある程度成長した時期に、うねのあいだの土を耕し、株の根もとに土を寄せる。この作業により地上部が倒れるのを防ぐことができる。また、雑草の繁茂をおさえることができる。
3. 畑地かんがいは畑作物の生育に対し常に適切な空気中の水分状態を保持させるため、水分を調節、補給する技術である。
4. 栽培期間の長い作物では、土の中の養分が不足してくるため、肥料を補給する。このような栽培期間中に施す肥料を基肥という。
5. 作物の光合成や養水分の吸収が活発に行われ、健全に育つためには、日当たりや通風をよくするための十分な間隔と空間を確保しなければならない。そのためにこみ合った株を抜き取って株と株の間を広げる整枝が行われる。

【正答2】

## 農業B

〔例題2〕 遺伝のしくみに関する次の記述について、空欄A～Dに該当する語の組合せとして正しいものはどれか。

メンデルは遺伝の仕方に3つの規則性があると唱えている。

優性の法則：対立形質のうち、ではどちらか一方の形質だけが現れる。

分離の法則：対立遺伝子は、して配偶子に伝えられる。

独立の法則：異なるつの形質に注目した場合、それぞれの形質の対立遺伝子は独立して行動する。

一方、自然界では親と異なる新しい形質をもつことがあり、その形質が親から子に遺伝することがある。このことをとよぶ。

	A	B	C	D
1. 雑種第一代		分離	2	突然変異
2. 雑種第一代		融合	2	突然変異
3. 雑種第一代		融合	4	自然選択
4. 雑種第二代		分離	2	突然変異
5. 雑種第二代		分離	4	自然選択

【正答1】